

マーケットの動き（2022年6月6日～6月10日）

先週の国内リート市場は、前週末比で上昇しました。

円安の進展や国内の経済活動再開への期待感から堅調に推移しました。週末にかけては、ECB（欧州中央銀行）が利上げを示唆したことを受け下落に転じ、上げ幅を縮めて週を終えました。

セクター別では、オフィスセクターや住宅セクターが上昇した一方、商業・物流等セクターが下落しました。

投資環境見通し（2022年6月）

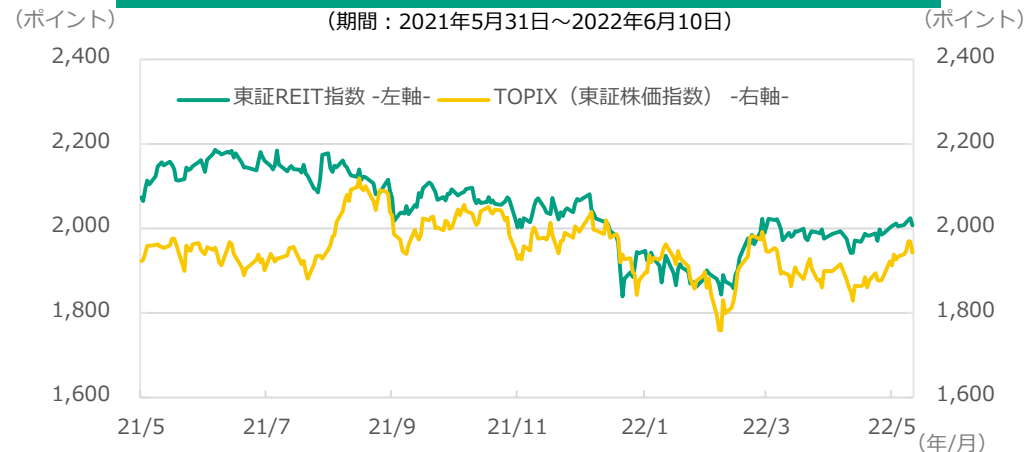
国内リート市場は引き続き底堅く推移すると予想

新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、6月10日からの外国人観光客の受け入れ再開が表明されたことに加え出社率も回復してきていることから、ホテルや商業施設などの業績回復が期待されます。また、日銀は金融緩和政策を継続する姿勢を強く示していることから、国内リートの高い利回りを求める資金の流入は多いとみており、国内リート市場は底堅く推移すると予想しています。

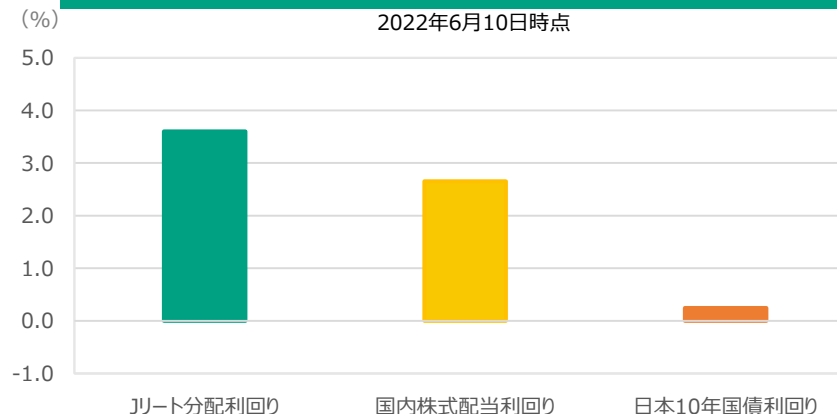
	6月10日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	2,007.74	0.14%	2.52%	▲3.06%	▲6.89%
<ご参考> TOPIX（東証株価指数）	1,943.09	0.51%	4.33%	▲1.64%	▲0.70%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>